

地域連携の取組み in しずおか

うかがう（企業等への訪問）

平成29年7月から平成30年6月までに、東海財務局静岡財務事務所が実施した地域連携の取組みについてご紹介します。

●せいしんビジネスクラブ設立30周年記念式典祝辞（平成29年7月19日）

静清信用金庫の取引先企業で構成する「せいしんビジネスクラブ（350会員）」の設立30周年記念式典にお呼びいただきました。

30年の長きに亘り会を継続運営されてきたこと、及び金融機関として、若手経営者や後継経営者の育成や交流の場を早くから設けてきたことに敬意を表し、来賓を代表してお祝いの挨拶を致しました。



●先生（せんじょう）精機株式会社を訪問（平成29年8月3日）

金融機関の若手経営者の会で、先生総務部長と懇談させていただいたことをきっかけに、本社を訪問し、先生社長と総務部長から、会社概要、最近の景況等々御説明いただき、意見交換をさせていただきました。



●花の舞酒造株式会社を訪問（平成29年10月2日）

花の舞酒造株式会社の本社（浜松市）を訪問しました。当社は、主力を日本酒（地酒）とし、出荷量は県内最大手の日本酒メーカーです。

当日は、高木和夫代表取締役、福田日出男取締役をはじめ、役職員のみなさまから、最近の景況等や生産性向上のための取組みについて、お話を伺いました。



●株式会社ミズノテックを訪問（平成29年10月30日）

株式会社ミズノテックの藤枝工場を訪問しました。当社は、プレス加工等の技術を活かした自動車用照明器具部品等のメーカーで、新型機械の導入等で生産性向上に取り組んでいます。

当日は、水野一保会長、水野孝昭社長をはじめ、役員の方々と最近の景況や生産性向上に関する取組等について意見交換しました。



●株式会社イトーを訪問（平成29年11月16日）

株式会社イトーの本社（島田市）を訪問しました。当社は、紡績工場用の綿ぼこり除去部品のメーカーです。

当日は、伊藤取締役会長、伊藤代表取締役から、最近の景況等や生産性向上のための取組についてお話を伺いました。

11月29日に当事務所で開催した「しずおか経済フォーラム」のなかで、生産性向上のための好事例として、当社の「外部機関を活用した新商品の開発・販売や効率化などの取組」を紹介しました。



●丸尾興商株式会社への訪問（平30年3月8日）

管工機材卸商社の丸尾興商株式会社専務取締役の豊田浩子様を訪問し、男女共同参画や働き方改革などをテーマに意見交換を行いました。

当社は、1951年の会社設立当初から、ロールモデルとなる女性社員が存在し、男女共同参画に力を入れられているとのこと。現在では、女性リーダーが3割を占めているほか、営業も男女ペアサポート体制を敷いているほか、希望すれば、65歳までの継続雇用後も働ける仕組みがあるとのこと。常に創意工夫して社員が働きやすい職場づくりに取り組んでおられます。



●有限会社キタガワビジネスサービスへの訪問（平成30年3月28日）

人材派遣や業務請負などの総合人材サービス企業の「有限会社キタガワビジネスサービス」（静岡市清水区）取締役の北川信央様を訪問しました。

当社では、静岡の街の魅力向上や女性の活躍なども展開されておられます。今回はシニア層や子育て中の女性が働きやすい職場カイゼンの内容や働く女性人材プラットフォーム事業（コワーキングスペース、その場所で働く女性が利用できる保育園及び住居スペースが一体となった複合施設整備）の取組みなどについて、お話を伺いました。



●丸七製茶株式会社への訪問（平成30年4月10日）

日本茶OEM製造（相手先ブランド生産）で日本トップクラスの生産量を誇る「丸七製茶株式会社」（藤枝市）代表取締役社長の鈴木成彦様を訪問しました。

当社は、お茶の味しさを直接伝えるため、直営店「ななや」を設立するなど、お茶の価値を高めていくためのブランディング活動に注力して取り組んでいるとのこと。

当日は、製茶業界の海外展開の状況のほか、当社における人材確保及び生産性の向上の取組みなどのお話を伺いました。



●伊豆箱根鉄道株式会社への訪問（平成30年5月7日）

箱根、伊豆をメインエリアとする鉄道事業や遊覧船・ケーブルカー等の観光事業など、幅広く事業を展開している「伊豆箱根鉄道株式会社」（三島市）代表取締役社長の伍堂文康様を訪問し、伊豆地域の景況感、観光業の現状と課題及び今後の展望等について、意見交換を行いました。

なお、同社とは、今後、定期的に経済情勢等について情報交換を行っていくこととなりました。



●島田、牧之原地域の地元茶業者を訪問（平成30年5月、6月）

島田信用金庫主催の茶業者懇談会「静岡茶2018」でお会いした島田、牧之原地域の茶業者を訪問し、静岡の茶業界の現状と課題についてお話を伺いました。

そのなかで、「静岡は荒茶生産量、茶園面積等は日本一だが、減少傾向にあり、生活スタイルの変化等から急須でお茶を飲む習慣が減少し価格が低下していること」、「高齢化等から傾斜農地を中心に耕作放棄地が増加していること」、「他県に比べて生産性が低いこと」等を課題に挙げられました。

今後、耕作放棄地の開放、生産性向上のための基盤整備、茶生産の人材確保など、地域だけでなく、県を挙げて課題解決に取り組んでいくことが必要とのことです。



今回、訪問させていただいたのは以下の方々です。

株式会社高柳製茶（牧之原市） 高柳虎夫会長、高柳敬将社長（5月21日）

カワサキ機工株式会社（島田市） 川崎洋助社長（5月21日）

株式会社荒畑園（牧之原市） 荒畑賀範社長（5月24日）

ハラダ製茶株式会社（島田市） 原田康会長（6月4日）